

ラボ便り

ツーソンで出会った石

タキガワ ショウコ
AGTジェムラボラトリー 滝川 修功

今回幸いにもツーソン ジェム ショーに参加することができ、様々な宝石を目の当たりにすることが出来ました。その中でも特徴的で興味深い宝石について幾つかご報告いたします。

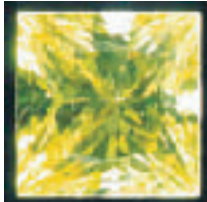
カラーチェンジ キュービック ジルコニア
重量:7.102ct
比重:6.01(静水法)
屈折率:OTL
紫外線蛍光:SW・LWともに弱赤



〇のカラーバリエーション

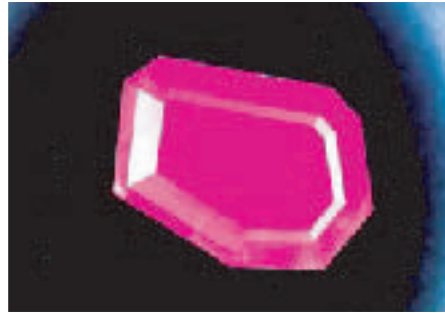
キュービックジルコニア(以下CZ)は、ダイヤモンドの類似石として最も一般的に知られている合成石ですが、そのカラーバリエーションは豊富でかつ値段も手頃なことから広く普及しています。

今回のツーソン ジェム ショーにも様々な色のCZが出展されており、中でもひととき目立っていたものが、この変色効果をしめすロシア製の標本です。以前から変色効果のあるCZは流通していましたが、これほど顕著な変化を見せるものはありませんでした。蛍光灯下ではグリーン、白熱灯下ではブラウンへとはっきりした変化を見せるこの石は天然石にたとえれば、ペリドットやスフィンあるいはトパーズなどに近い色で従来のCZにはなかったおもしろさがあり、非常に美しく魅力的です。



今回購入した〇は蛍光灯下ではグリーンを呈するが自然灯下ではブラウンと変色効果をしめす。

コバルト カルサイト
重量:4.040ct
比重:2.69(静水法)
屈折率:1.490~1.655
紫外線蛍光:SW・LWともになし



コバルト カルサイト(4.040 ct)

コバルトという宝石の主要な着色元素のひとつで、合成ブルースピネルやコバルトガラスの青色(コバルトブルー)の着色剤として用いられますが、同時に天然宝石の発色元素でもあり石に美しいピンク色をあたえてくれます。

コバルト カルサイトはピンク色あるいはローズ色の垂透明から半透明のカルサイトのことで、スペイン、ザイルなどで多く産出されています。ご存知のようにカルサイトは硬度が低くクレープが3方向完全の劈開性があるので滅多にカットされることがないので、この標本のように美しくファセット加工が施され、さらに色も均一で鮮やかなものは比較的珍しくコレクター嗜好の強い石といえます。

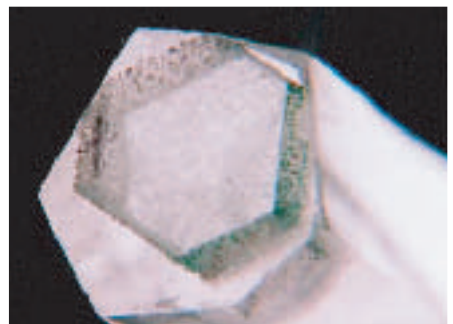
ファントム クォーツ(山入水晶)

ファントムとはお化けや幻を意味しますが、透明結晶中に見られるわずかな濃淡の差のある色縞、あるいは色相の異なる層の繰り返されている状態を喩えてそう呼ぶ場合があります。またこれは繰返し結晶のため、水晶の中に水晶が入ったようなその外観から山入水晶とも呼ばれます。

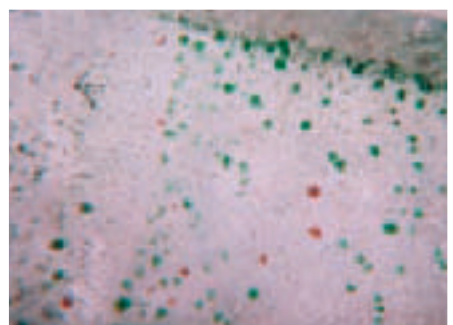
写真のクォーツには繰返しの結晶が見られ境界部分が緑色を呈していますが、これはクローライト(緑泥石)という鉱物結晶で、拡大写真で確認できるように苔状でまばらに分布しています。



ファントム クォーツ



繰返し結晶が見られた境界部分が緑色を呈している。



拡大検査をするとクローライト(緑泥石)が苔状で、まばらに分布しているのが確認できる。

このクローライトというのは、ごく一般的な鉱物で単斜晶系に属し、通常は六角板状の結晶形をしています。インクルージョンの場合は、それとは異なって苔状あるいは針状で様々な鉱物中に分布し、それらに緑色を与えています。例えばモスアゲートのようにクローライトの苔状インクルージョンのためにその名がつけられている鉱物もあります。

クローライト以外にもクォーツ中には様々な鉱物インクルージョンが内包されることが多く、ジェムロジスト・ニュース Vol.12で紹介したストロベリー クォーツ、Vol.16で紹介したラズライトインクルージョンの入ったロック クリスタルなど個性的で面白いものが数多くあります。